

1 領域名 (道徳)

2 資料名 (森からの伝言 【内容項目 3 - (2) 自然の愛護・豊かな心】)

3 タブレットの使用方法 (どれかに○をつける)

教員 1 台の使用

グループ 1 台の使用

生徒 1 人 1 台の使用

4 本時

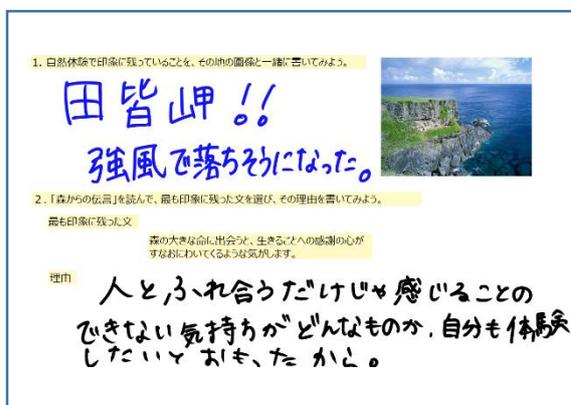
(1) 本時のねらい

自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心をもつ。

(2) 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	指導のポイント (タブレット端末活用)
導入	○自分のこれまでの自然体験を振り返り、共有することで、改めて自然の美しさに触れる。	・ IWB に生徒一人一人の画像を提示し、自然は美しいと感じる気持ちを共有させる。
展開	○「森からの伝言」を読んで、最も印象に残った文を抜き出し、その理由を考える。 ○自分が行って見てみたい自然の風景、または検索して美しいと感じた自然の風景の画像をワークシートに添付し、どんな気持ちになるかを書く。	・ 筆者の道徳的価値に共感し、自分の考えを持つことで、価値の深化を図る。 ・ ワークシートを IWB に提示し、他の生徒の考えを共有させる。 ・ IWB に教師の例を提示し、作業のイメージをもたせる。 ・ 自然を美しいと感じるだけでなく、自分の気持ちを見つめること、また他の生徒の考えを共有することで、心の豊かさをより一層ふくらませる。
まとめ	○教師の説話を聞く。	・ 自然から感じた生徒の気持ちを織り交ぜ、都心で生活する生徒たちに、自然の美しさや、美しい自然を見て安らいだり、気持ちが高揚したりするような豊かな心を持つことの大切さを再確認させる。

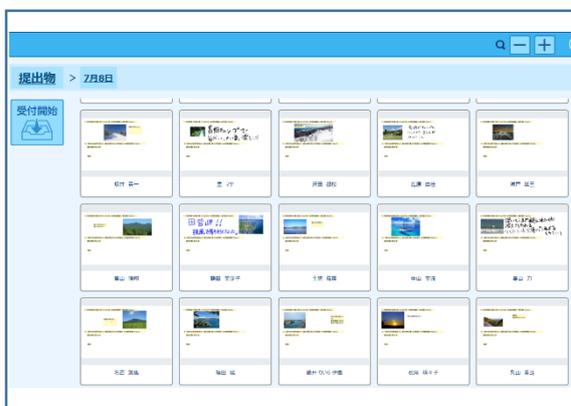
タブレット端末活用のポイント（効果・生徒の反応）



① 導入での活用 関心を高める

<活用した機能>（ 画像の投影 ）

生徒個々の経験と、映像とを共有させることで、本時の目的である「自然」や「美しいもの」を身近なものとして感じさせ、関心を高めさせることができる。



② 時間を区切って課題に取り組む

<活用した機能>（ 提出箱機能 ）

生徒のワークシートを教員機に提出させて、一元管理をする。一枚ずつ拡大提示することができるので、気持ちや考えを共有する作業では効果を発揮する。



③ 課題に取り組む生徒の様子

<活用した機能>（ SKY 発表ノート ）

自分が行ってみたい自然の風景や、その風景を眺めたときにどのような気持ちになるのかを、一人静かに考えながら作業する。

自然の雄大さや美しさに触れさせることで、豊かな心を育てる。

実践を振り返って（こんな場面でも活用できる）

今回は、一人一人の経験や、行ってみたいという希望から、自然の雄大さや美しさに触れる場面を多く設定し、豊かな心の育成を図る授業とした。

今後、道徳の教科化を控え、考えさせる道徳、議論させる道徳が求められている。その際は、グループで1台のタブレット端末を活用し、グループで議論させその議論を共有させる。と

いう方法も考えられる。タブレット端末は、情報の共有のためには大変有効なツールである。道徳でも、この有効性を十分に活用する方法を更に探っていきたい。